

第2回 総合振興計画審議会 後期基本計画（案）におけるご意見等について

番号	ページ	行	ご意見やご質問	対応	
				部署	回答
1	5		「年少人口」、「生産年齢人口」、「老年人口」ということが書かれてあるが、人生100年といわれている中で、65歳の人口をひとくくりにするのではなくて、もう少し細かく分けてみては。	企画課	国勢調査の集計データがこのような形となっていることから、詳細なデータがないため、現状の3区分別人口という区分の仕方で行きたいと思います。
2	6		食料自給率について、現在どうなっており、将来どのあたりを目指しているのか(例えば農業者数が何名とか)ということが分かればイメージが湧きやすいと思う。	企画課	高知県の食料自給率はカロリーベースで43%<国は37%>となっております。ただ、市町村ごとに発表されたものがないため、四万十町の自給率ということで数字を出すのが難しいと考えています。
3	10		住民意向のところですが、こういった調査を今後する予定があるかないか	企画	2年に1度住民アンケートを実施するようにしており、質問内容は変わるが、今年度も実施予定です。
4	13	上から4行目	高度情報化のさらなる進展のところ、新型コロナウイルスの感染拡大の防止の観点からと記述がありますが、四万十町でのワクチン接種率は。	町長	高齢者7500人を対象に、7月末で約6600人が接種をしております。現在65歳以下の方も順次接種を進めておりまして、現在約8500人が接種をしている状況です。
5	24		24、25ページのSDGsの対応表なんですが、もう少し検討されたら良いかと思います。例えば、施策目標(15)の障がい福祉の充実のところ、「すべての人に健康と福祉を」が入ってなかったりということもありますので再度見直ししていただけたらと思います。	企画課	見直しいたします。
6	28	上から13行目	環境保全型農業とはどのようなものですか。	農林水産課	一般的に慣行農法で使われている農薬や化学肥料の使用量を低減させていたく農法のことです。

7	29	上から2行目	担い手の育成と経営体の強化というところで、担い手の経営力の強化を図りますという記述がありますが、具体的にどういったことで経営力の強化を図っているのか。	農林水産課	担い手の捉え方として、1つは、新規就農者の支援ということで、もう1つは集落営農組織の強化や、営農支援センター等の強化を考えているところです。
8	29	上から11行目	高度環境制御技術とはどのようなものですか。	農林水産課	作物の生育期で重要となる温度や湿度を一定に保ったり、光合成に必要な二酸化炭素の供給などを自動で管理する技術のこと。（ハウスでの野菜の栽培に使われます）
9	30		水産業の振興のところで、従事者を増やしていくという言葉がないように思うが、従事者は十分確保できているのでしょうか。	農林水産課	漁業全体として振興していくことで、従事者や雇用者を増やしていくということでございますが、なお方針のところに、新規就漁者の確保育成という文言を追加します。
10	30	下から2行目	水産資源が減少しておりとありますが要因がわかれば教えてください。	企画課	一説では温暖化や乱獲、また川の状態が変わってきて、生息環境が変化しているということも言われております。様々な要因が複雑に絡み合っていることから、1つ要因をあげることは難しいですし、またそれを改善することで解消できるということでもありませんので、なかなか難しい問題だと考えております。
11	30		自伐林業を増やしたかったら、複層林にしていくとか、クヌギなどの広葉樹を出しやすい山にしていこうとか、針葉樹に偏った植林が、例えば河川環境を悪くしている要因があるのであれば、そこを変えていくように町として力を入れていくとかそういった方向性が見えたら良いなと思いました。	農林水産課	計画書に細かく記載はできませんが、もちろん戦後脈々と続いてきましたスギ・ヒノキ一辺倒では無理であろうということは多くの方が考えていることでありますし、最近では国産の成長の早い木を植えてみたり、町内においてもクヌギの生産というところでは、シイタケの栽培の面からも強く求められているところでもあります。担当課の方でも個別に林業の計画を立てていく予定もございまして、その中で森林環境譲与税を活用しながら、このまちにあった林業というものを検討してまいりたいと考えています。

12	36	本町の商店街の衰退というところも非常に問題視しているところですが、方針のところは商工業振興の方針を示しとあるのですが、実際に商店街の方と同じ方向を向いて進めているのか、また理解をして進めているのか。	にぎわい創出課	商工会の方とは一定連携をとって行っているつもりであります。やはり店主の高齢化もあり、なかなか思うように進まないところもありますが、皆様の声をいただきながら、一緒に進めていければと考えております。
13	36	製品出荷額は、前期計画の数字が何百億円という数字で、桁が一桁多いが、今回の何十億円という数字が正解ということでよいか。	企画課	そのとおりです。8ページの表も修正しております。
14	37	本町商店街のことが書かれてありますけれど、昭和50年ごろはいろんな店が沢山あり、すごく賑やかだったわけですが、だんだんと大きなお店（ドラッグストアなど）が来て、本町のお店が衰退していく一方だと思えます。四万十町に住む人間としては、すごく寂しいなと思うところ。これからそういった大きなお店がきたりする計画はありますか。	にぎわい創出課	大きな店舗が来る予定があるかということについては、今のところ聞いてはいたしません。昔からいうとインターネットの普及など皆さんの生活が様変わりしています。すべてのお店を残していくということは難しいとは思いますが、商店街の良さというものを残していきたいと考えておりますのでよろしくをお願いします。
15	38	四万十町の大きなブランドである四万十川の自然を生かした取組（キャンプや自然体験など）を継続していただき、関係人口や交流人口の増加を図り、地域振興につなげていただきたい。	企画課 にぎわい創出課	キャンプ場の整備も含め、四万十川の自然体験など四万十町へ足を運んでいただけるよう継続して取り組んでまいります。
16	45	指標ところで、地元中学生の町内高校入学率について、令和2年度は20.3%を令和8年度に60%までもっていくということで書かれておりますが、こういったことをやることでここまで地元高校に残る高校生を育てていくのかということについて教えてください。	企画課	現在、「じゆうく」では大学進学希望者を募りまして、通塾いただくことで、大学への進学率や学力を上げていこうという取組を行っております。また、高校におけるICTの利活用も含めて、高校の魅力化に努めているところです。
17	51	芸術文化・奨学学習・スポーツの推進というところで、前回の計画では＜芸術・文化＞ということ書かれてあったのが、今回＜文化財＞ということに名称が変わっているがなぜか。	企画課	現在文化的施設の建設ということを進めてきている中で、芸術という分野では美術館を中心として今後の方策を説明した方が分かり易いのではないかとということで、あえて文化財という項目を別出しして、分けて記載をさせていただいています。

18	61	下から4行目	近年ということばが使われているが、アユの漁獲量などが減少しているのはかなり前からなので表現を変えたらどうか。	企画課	近年の字句を削除いたします。
19	67		前期の計画で、建築物の安全性の確保という施策がなくなっているがどうか。	建設課	建築基準法に基づく完了検査等については、県の建築主事が行う業務となっており、町が実施していないためということと、また、住宅の耐震化にや耐震改修に対する支援については、70ページの地震・津波対策の強化のところで、個人住宅やブロック塀の耐震化の記述があるため、削除しました。
20	72	上から2行目	質の高い町職員を育成しますとありますが、「質」という表現を例えば「資質」とか「〇〇能力の高い」とかいうように変えてはどうか。	企画課	「自治に向き合う質の高い町職員を育成します」⇒「まちの課題に正面から向き合い、町民から信頼される町職員を育成します」等の表現に変更します。
21	全体		どの項目にも課題がかかれておりますが、その課題について具体的な取組はなかなか書きにくいところもあるかと思いますが、課題に対して具体的な施策が示されていないところもあります。	企画課	全体的に見直しを行います。
22	全体		よく見ていくと前期計画であった目標値が後期計画の方で全くなくなっている箇所があります。事情があって新しい指標をつくって取り組んでいくということだと思いますが、前回と比較ができないところもあつたりして、少しわかりづらいところもあります。	企画課	計画書として見やすい内容となるよう検討いたします。

23	全体		まちづくり基本条例が振興計画のベースになっていますので、その中で情報の公開であったり、参画であったり、協働であったり、そういう意味では役場だけがこの計画を進めていくということではなくて、役場も議会も住民も一緒になってこの計画を進めていくことが必要だと思います。そういった点を意識して後期の中では住民も関わっていきながら、この計画を進めていくということで、住民の理解を得られるような計画の策定の仕方が必要かなと思います。	企画課	指標のところ、住民参画の内容も検討したいです。また、計画の策定自体に住民がかかわるということも今後検討していかなくてはいけないと感じています。
24	全体		前期の計画に対する評価というところが今回の資料ではわかりづらいところがあるのかなと思いました。できれば分野ごとに何がどれぐらいできていて、何ができなかったのか、その課題は何なのかというところが見えてくれば、分野ごとの次の施策につなげていくという説明が、分かり易くなるのではないかと思います。	企画	計画書にどう落としこんでいくのかということも含めて検討させてください。
25	その他		今後、AIやロボットが人に代わって仕事をていく時代になってくる。エネルギーの自給についても、考えていくことが大事になると思うが。	企画課	エネルギーの自給につきましては、今後検討していかなければいけない課題だと思っていますし、SDGsの推進というところでも、今後のまちの方針というものをきちんと打ち出していく必要があるかと思っています。今後検討していきたいです。
26	その他		減速する社会（どんどん人口が減り、高齢化が進んでいく意味）の中で、高齢者の生活支援であったり、行政コストを抑えていくための考え方として、国の進めているスマートシティ型のものを考えているか。	企画課	今のところ明確にそちらを目指すということで舵をきっているということではないですが、近い将来検討する必要があることは認識しており、今後検討させていただきたい。

27	その他		<p>千葉県のみすみ市は、オーガニック給食がすごいスピードで進んだらしいです（まずは貯蔵がきくお米から無農薬栽培に取り組んだということ）。食の安全に対して関心があるのは、やっぱり子育て世代だと思いますし、そういったニーズは一定数あるのではと思います。</p>	<p>企画課 学校教育課</p>	<p>本町の学校給食においては、食材である米、肉、野菜等は可能な限り地産地消を促進する方針です、特に野菜類については、町内の生産者団体、各農業者グループの方々と定期的な打合せ等を通じて、可能な減農薬の安全・安心な食材の提供を受けて調理を実施しています。</p> <p>この様な中、オーガニック給食の導入については、大きく3点の課題があります、1点目は、食材の供給面で、窪川給食センターでは玉葱、胡瓜など主力野菜は1日で50kg近くを必要としています。</p> <p>2点目は、食材の規格・形状について各センター共に様々な調理機械を使用している関係で一定の規格品が必要となります。</p> <p>3点目は、食材の購入価格の関係です、給食食材費は、保護者の負担となっているため、出来る範囲で低価格の食材の発注に努めています。</p> <p>以上の様な課題があり導入に向けては、今後、オーガニック野菜の生産面、供給体制などの状況を確認しながら、検討する必要があると考えております。（参考までに以前学校教育課に確認した内容を記載しています）</p>
28	その他		<p>現在のコロナワクチンの接種率は。</p>	<p>健康福祉課</p>	<p>接種対象者 15,157人 1回目接種 67.79%(10,274人) 2回目接種 57.46%(8,709人)</p>